

# アニマルウェルフェア 体験レポート

令和7年9月5日（金）アニマルウェルフェア体験事業

宮崎県立農業大学校畜産学科 2年 下村 康介  
1年 坂藤 大地  
〃 瀧本 綾乃  
〃 日野 要

令和7年9月5日

# 体験事業 について

- 宮崎県畜産振興課の中武主幹から、本県畜産業の現状やアニマルウェルフェアへの取組を学びました。
- 宮城大学の深澤教授から、アニマルウェルフェアの基礎知識などを学びました。
- アニマルウェルフェアを実践されている富永牧場（小林市）を訪問し、その取組内容や効果などを学びました。

# アニマルウェルフェア座学授業



# 本県畜産業の現状やアニマル ウェルフェアの取組について



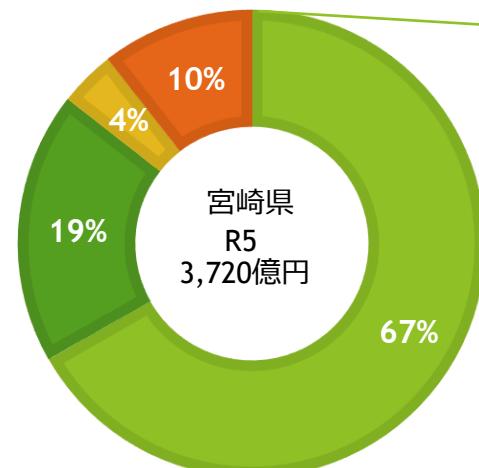
- ▶ 宮崎県は肉用牛や豚、ブロイラーなどが盛んで、日本の畜産生産において高い地位を占めている。
- ▶ 食肉加工施設では、EUなどへの輸出を進めており、EUを中心に取り組みが進むアニマルウェルフェアの観点から、家畜にストレスのない環境整備を行っている。
- ▶ 生産農場においては、GAP（農業生産工程管理）への取組を通じて、アニマルウェルフェアに配慮した生産を進めている。

# 宮崎県は肉用牛、豚、ブロイラーなどが盛んで、日本の畜産業において高い地位を占めている

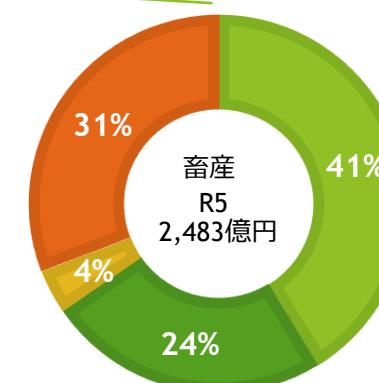
- ▶ 宮崎県の飼養頭羽数（令和6年2月）は肉用牛が全国3位、258,200頭、豚も全国3位、721,900頭、ブロイラーが全国2位、28,155万羽となっている。
- ▶ 宮崎県の農業産出額は令和5年で3,720億円と全国6位となっている。そのうち、66.7%を畜産が占めている。

## 宮崎県の農業産出額の構成

■畜産 ■野菜 ■米 ■その他



■鶏 ■豚 ■乳用牛 ■肉用牛



食品加工施設では、EUなどへの輸出を進めており、EUを中心に取り組みが進むアニマルウェルフェアの観点から、家畜にストレスのない環境整備が行われている。

- ▶ 畜産加工・販売を行う（株）ミヤチクの食肉処理加工施設「都農工場」はEUなどへの輸出を目指した最新鋭施設を整備。
- ▶ 欧州を中心に取り組みが進む「アニマルウェルフェア」の観点から、家畜にストレスのない環境づくりが進む。
  - ・ 12時間以上係留する牛への給餌を行う
  - ・ 係留所は屋内に設ける
  - ・ 換気扇の設置



## 生産農場においては、GAP(農業生産工程管理)への取組を通じて、 アニマルウェルフェアに配慮した生産が進められている

- ▶ 宮崎県立農業大学校でも取り組み、認証されている。
- ▶ GAPの7つの取り組み内容



- ▶ GAP(Good Agricultural Practice)は消費者、生産者、環境にとって「Good」な農業のことで、農業生産の各工程の実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動。
- ▶ GAPの認証は農家自身が行うものではなく、第3者によるものなので、信頼度が高い。



# アニマルウェルフェアって何？

# アニマルウェルフェアとは

- ▶ **動物福祉**
- ▶ **動物愛護**
- ▶ 「動物に優しくすること」じゃない  
の？？

アニマルウェルフェアは動物に優しくすることだけでなく、**消費者が安心して畜産物を食べれる**ようにするためだったり、**家畜を病気から守る**ための取り組みです。

# 家畜を病気から守る

世界的な家畜の病気流行

BSE、鳥インフルエンザ、豚熱、口蹄疫

国際獣疫事務局（WOAH）

淘汰・治療 → 予防の方針転換

健康な家畜は健全な飼育から

→ アニマルウェルフェアの配慮

家畜の健康を守るためにアニマルウェルフェアの  
**国際的な共通認識**が必要

# アニマルウェルフェアの配慮

- ・英国家畜福祉専門委員会が、  
1992年に「**5つの自由**」を提唱

1. 飢えと渴きからの自由
2. 不快環境からの自由
3. 痛み、怪我、病気からの自由
4. 恐怖・苦悩からの自由
5. 正常行動を発現する自由

# 1. 飢えと渴きからの自由

- ・動物のステージ、栄養要求にあった餌を十分に与えてますか？
- ・いつでも新鮮な水をあたえていますか？



## 2. 不快環境からの自由

- ・落ち着ける環境を提供していますか？
- ・清潔に保たれていますか？
- ・適切な温度管理ができますか？



### 3. 痛み・怪我・病気からの自由

- ・予防注射・寄生虫予防薬の投与を行っていますか？
- ・定期健康診断を行っていますか？



## 4. 苦悩・恐怖からの自由

- ・管理者との関係は良好ですか？
- ・仲間へのアクセスは良好ですか？



## 5. 正常行動を発現する自由

- ・動物の行動欲求は満たされていますか？
- ・行動できる物理的環境や社会的環境が整っていますか？



# アニマルウェルフェアとは

1. 飢えと渴きからの自由
2. 不快環境からの自由
3. 痛み、怪我、病気からの自由
4. 恐怖・苦悩からの自由
5. 正常行動を発現する自由



動物を快適な状態で「動物らしく」飼ってあげること

# 今より良くするために

- ・アニマルウェルフェアとは「**白か黒**」ではなく、その間に色々な「**状態**」がある
- ・少しでも「**幸せ**」に近づける努力 = 配慮が大事
- ・チェックリストで自分でできていない点を確認する



# 富永牧場（小林市）での 体験授業





## 取り組み 1

▶循環型農業に取り組み、化学肥料や除草剤を使用せず栽培した自給飼料を給与することで、牛が健康に成長できるようにしている。

# 取り組み 1 説明

子牛や肥育など輸入飼料が必要な部分もある。それ以外の母牛などは無農薬の自給飼料を使用している。



## 取り組み2

- ▶地元の豊かで澄んだ湧水を定期的に水質検査して、牛の飲み水として与えている。

## 取り組み2 説明

昭和8年に隧道を100間（約180m）掘削し  
霧島山麓の湧水を引き込み、定期的に水質検査  
を行いながら現在も使用している。



## 取り組み3

- ▶牛が自然な状態に近いフリーバーン牛舎で飼うことで、牛が健康でストレスのかからない環境としている。

## 取り組み3 説明

個々の牛が管理しやすい  
つなぎ飼い牛舎ではなく、牛  
が自由に動けるフリーバーン  
牛舎で飼育している



## メリット

- ▶ 付加価値
- ▶ 消費者への信頼
- ▶ 安全・安心

## デメリット

- ▶ 手間がかかる
- ▶ 取り組めることに限りがある

## まとめ

- ▶ 富永牧場では、アニマルウェルフェアに取り組むことで、牛がより自然に近い状態で飼育され、ストレスのからない環境を作り出している。
- ▶ 6次産業に取り組まれている中で、牛だけではなく消費者の安全・安心を得ている
- ▶ アニマルウェルフェアに取り組んでいることにより付加価値をつけ生産者や消費者の信頼を得ている

# アニマルウェルフェアを体験して

## 下村康介

中学校時代から馬術競技を続けています。深澤先生の説明で、今まで漠然としていた動物愛護とAWの違いがよく分かりました。馬と心通わせ、もっと幸せに生きられるよう、調教や管理などの方法を工夫したいと思いました。

## 坂藤大地

AWを難しく考え過ぎている農家が多いので、「5つの自由」を浸透させる必要性を感じました。将来は、実家を継いで、和牛の繁殖肥育一貫生産に取り組む予定です。清潔で適切な温度の牛舎など、環境整備から始めたいです。

## 瀧本綾乃

「牛が好きな気持ちをまず大切に」。講義や牛舎見学を通じて、AWに取り組む気持ちが強くなりました。まずは牛舎での作業中に観察力を高め、食欲や歩き方、体調の変化など病気の前兆に気付けるようになります。

## 日野要

出身地の長野県は宮崎ほど畜産が盛んではなく、AWの機運醸成には時間がかかりそう。でも食の安全安心につながる大事な取り組みなので、消費者が頑張る農家を「消費」で応援してもらえるとAWも広まると思いました。

